

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】平成 17 年 12 月 22 日 (2005.12.22)

【公表番号】特表 2002-505607(P2002-505607A)
【公表日】平成 14 年 2 月 19 日 (2002.2.19)
【出願番号】特願平 11-504700
【国際特許分類第 7 版】
A 6 2 B 23/02
【F I】
A 6 2 B 23/02

【手続補正書】
【提出日】平成 17 年 6 月 15 日 (2005.6.15)
【手続補正 1】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】補正の内容のとおり
【補正方法】変更
【補正の内容】

手 続 補 正 書

平成17年6月15日

特許庁長官 小 川 洋 殿

1. 事件の表示

平成11年特許願第504700号

2. 補正をする者

名称 ミネソタ マイニング アンド マニュファクチャリング
カンパニー

3. 代 理 人

住所 〒105-8423 東京都港区虎ノ門三丁目5番1号 虎ノ門37森ビル

青和特許法律事務所 電話 03-5470-1900

氏名 弁理士(7751) 石 田 敬



4. 補正対象書類名

請求の範囲

5. 補正対象項目名

請求の範囲

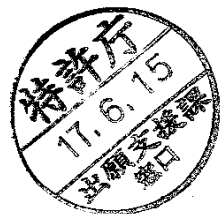
6. 補正の内容

請求の範囲を別紙の通りに補正する。

7. 添付書類の目録

請求の範囲

1 通



式 様



請求の範囲

1. 呼吸マスクであって、

(a) 成形したカップ形状の形状保持シェルと、

(b) 前記形状保持シェルの凹面に配置されるフィルタ材料層と、

(c) 約5～24マイクロメートルの平均繊維直径と3.5未満の繊維デニールとを有するメルトブロー繊維群を含有する不織カバーウェブであって、5～50 g/m² の坪量を有するとともに、前記フィルタ材料層の凹面上で該マスクの内面に、形状保持層を介在させずに配置される不織カバーウェブとを具備し、

前記フィルタ材料層と前記不織カバーウェブとが、前記形状保持シェルの前記カップ形状に適合されていること、

を特徴とする呼吸マスク。

2. 前記不織カバーウェブは、10～30 g/m² の坪量を有するとともに、2未満の繊維デニールを有し、該不織カバーウェブが、(i) ポリオレフィン若しくはポリオレフィン混合材料か、または、(ii) ポリプロピレン若しくはポリプロピレン混合材料から作製される、請求項1に記載の呼吸マスク。

3. 前記メルトブロー繊維群は、約7～18マイクロメートルの平均繊維直径を有する、請求項1に記載の呼吸マスク。

4. 呼吸マスクを製造する方法であって、

(i) 熱結合繊維群を含有する不織繊維ウェブと、フィルタ材料層と、該不織繊維ウェブから離れた側で該フィルタ材料層に隣接するカバーウェブであって、5～50 g/m² の坪量と3.5未満の繊維デニールとを有するメルトブロー微細繊維群を含有する不織材料の層を具備するカバーウェブとを、互いに一体的に組み合わせるステップと、

(ii) 前記組み合わせられた層群を呼吸マスクの形状に成形し、それによって、前記熱結合繊維群を含有する前記不織繊維ウェブが、カップ形状の形状保持シェルの形成して、その凹面に、前記フィルタ材料層と前記カバーウェブとが位置するようにするとともに、該カバーウェブが呼吸マスクの内面を形成するようにするステップと、

を有する呼吸マスク製造方法。

5. 濾過フェイスマスクであって、
- (a) 成形したカップ形状の形状保持シェルと、
 - (b) 前記形状保持シェルに接触して配置されるフィルタ材料層と、
 - (c) 前記形状保持シェルと前記フィルタ材料層との間に配置され、該フィルタ材料層が該形状保持シェルに固着されたときに該形状保持シェルの前記カップ形状を呈するように、該フィルタ材料層を該形状保持シェルに固着できるようにする接着剤と、
- を具備することを特徴とする濾過フェイスマスク。
6. 前記接着剤がホットメルト接着剤である、請求項5に記載の濾過フェイスマスク。
7. 前記接着剤が不織ウェブの形態で適用される、請求項5に記載の濾過フェイスマスク。
8. (d) 濾過フェイスマスクの少なくとも1つの凹外面又は凸外面に、最外層として配置されるとともに接着剤を用いて固着されるカバーウェブをさらに具備する、請求項5に記載の濾過フェイスマスク。
9. 前記カバーウェブは、 $10 \sim 30 \text{ g/m}^2$ の坪量を有するとともに、2未満の繊維デニールを有する、請求項8に記載の濾過フェイスマスク。